

MIMI5
WELL

GC Returns
開催報告書

MIMI5 GC Returns 2025



“GC Returns” 実行委員会

■タイトルスポンサー

株式会社 永光



MIMI5well はドクターとデザイナーがコラボした未来型集音器です。

最近耳が遠くなったり、聞ききとりにくいと感じているのに補聴器や集音器に躊躇がある方、色々使ってきてけど音の質や装着感にストレスがあって結局そのままで放置している方。

耳掛けタイプで耳がオープンなのでとにかく快適。電話も取れるし食事中の咀嚼音もきになりません。デザイン性の高い新型の MIMI5well は未来型の集音器として、集音器のネガティブなイメージをすべて払拭した新しい製品です。

- I. 軟骨伝導（なんこつでんどう）2004 年に奈良県立医科大学の細井裕司教授によって発見された新しい聴覚経路で、「気導」「骨導」に続く“第 3 の聴覚経路”を採用
- II. 脳の健康が促進され、注意力や記憶力がアップする周波帯
- III. 密着性構造
- IV. マルチ伝達
- V. 喜多俊之氏のデザイン（2025 年文化庁官特別賞）

耳の健康は私たちの全体的なウェルビーイング（心身の健康と幸福）にとって非常に重要なファクターです。コミュニケーションを楽しみ、認知機能の低下防止となりメンタルヘルスの向上にもつながります。MIMI5well は耳の健康を守る唯一無二の商品として 2025 年度中的一般発売を目指しております。

開発会社：株式会社永光 <https://mimi5-well.jp/>

協力：CCH 社 <https://cch-sound.co.jp/>

喜多俊之デザイン事務所 <https://www.toshiyukikita.com/>

MIMI5 GC Returns 2025 イベント開催への御礼

GC Returns

このたびは「MIMI5 GC Returns 2025」にご参加・ご声援・ご支援を賜り、誠にありがとうございました。

8月9日（土）の大会当日は、サーキットにお越しくださった大勢のファンの皆様、またSNS等で盛り上げてくださった皆様のおかげをもちまして、初開催ながら無事に終了することができました。改めて心より御礼申し上げます。

本大会は、私・鮎子田が仲間との会話の中で「もう一度あのグラチャンを再現できないか」「当時の車両を今も大切に所有されている方々がいる」「世代を超えて楽しめるイベントにできるのではないか」と語り合ったことがきっかけで実現に至りました。



当初は「参加台数が集まらなければ成立しない」と懸念しておりましたが、仲間の呼びかけから輪が広がり、このイベントのために新たにマシンを準備してくださった方も含め、最終的に14台（うち走行12台）が集結いたしました。初開催としては十分な成果であったと考えております。

また、運営や資金面といった課題がある中、冠スポンサーとしてご支援くださいました株式会社永光様、協賛いただきましたオークランド観光開発株式会社様のお力添えに、心より感謝申し上げます。

さらに、前日の設営から当日の運営までご尽力くださったスタッフの皆様の存在なくして、この成功はあり得ませんでした。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

もっとも「成功」と申し上げつつも、多くの反省点があったことも事実です。これらを糧とし、2026年大会ではより円滑かつ充実した運営をお見せできるよう努めてまいります。

最後に、賞品をご提供いただきました各社様、レース運営を担っていただいたジャパンレーシングサービス様、そして現地やSNSで応援くださったファンの皆様に、重ねて御礼申し上げます。

引き続き来年も変わらぬご支援とご声援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

“GC Returns” 実行委員会
実行委員長 鮎子田 寛

MIMI5 GC Returns 2025

開催概要

GC Returns

Vehicle regulations

参加車両規定

参加車両は当時の規定に準じて、3つのクラス（ジェネレーション）に分けられている。
レースは混走で行われ、それぞれのクラスで表彰が行われる。

項目	Gen-1	Gen-2	Gen-3
年代	1972-1978	1979-1986	1987-1989
車両カテゴリー	2座席スポーツプロトタイプ	1座席スポーツプロトタイプ	1座席スポーツプロトタイプ
車両コンセプト	2座席シャシーに純正・改造 ・特製 2座席カウル搭載	専用 / フォーミュラシャシーに 特製・専用 1座席カウル搭載	専用 / フォーミュラシャシーに 特製・専用 1座席カウル搭載
参戦可能車両	シェブロン、ローラ、マーチ GRD、SIGMA、EVA他	MCS、NOVA、KR、 マーチ他	マーチ、ローラ他
エンジン・ マニュファクチャラー	FORD・COSWORTH&HART BMW、三菱、トヨタ、いすゞ、 マツダ（2ローター）他	BMW、マツダ（2ローター） YAMAHA他	FORD・COSWORTH、 無限、マツダ（3ローター）他
ボディ / カウル	コンストラクターオリジナルボディ（改造含む）、当該年代に使用されていた MCS 等の特製ボディ / カウル		
タイヤサイズ	GC レース参戦車両タイヤサイズに準じる		
タイヤ銘柄	2025 年度は指定なし（2026 年度より主催者指定予定）		

Race Schedule

レーススケジュール

- ▶ 日程：8月9日（土）
- ▶ 予選：9時00分～9時20分
- ▶ デモ走行：9時20分～9時40分
- ▶ グリッド整列：11時10分
- ▶ 決勝レース：11時30分
- ▶ ローリングスタート（10周）

Event overview

開催概要

- 名称：MIMI5 GC Returns 2025 (Fuji-1 GP 併催)
- 主催：フジワングランプリ実行委員会
- 協力：ジャパンレーシングサービス
- 主管：GC Returns 実行委員会
- 後援：レジェンドレーシングドライバーズクラブ
- 概要：GC Carによるエキジビションレース
- 車両：GC Car (Gen-1, Gen-2, Gen-3) 混走



MIMI5 GC Returns 2025

協賛各社

GC Returns

未来型集音器のMIMI5well

タイトルスポンサーのMIMI5wellは、株式会社永光が開発した未来型集音器。「第3の聴覚経路」と言われる軟骨伝導を採用し、喜多俊之氏デザインによる未来的フォルムを持つなど、これまでのネガティブなイメージを払拭した、耳掛けタイプの集音器だ。



スーパー銭湯のパイオニア

「竜泉寺の湯」は、全国で初めて「スーパー銭湯」を名乗ったオークランド観光開発株式会社の温泉施設。東海、関東、東北地区を中心に10店舗があり、「スパメッツァ」の新ブランドも展開する。



(協賛企業各社)



JAPAN Racing Service
17 ONE SEVEN LABO



MIMI5 GC Returns 2025

エントリーリスト

GC Returns

Gen-1

1972~78年

2座席2リッター時代

シェブロン、ローラ、マーチ、GRD、アルビースなどの海外製マシンと、シグマ、ベルコ、いすゞ、EVAなどの国内コンストラクターが開発したマシンが参戦し、エンジンもBMW、フォード・コスワース(HART)、マツダ2ローター、三菱、トヨタなど多くの選択肢があった。また海外製マシンも、多くが国内コンストラクターやチームにより、富士スペシャルと言うべきボディカウルに改造されていった。

Car No. 4 KEDシェブロン

TEAM → やさか俱楽部 DRIVER → 久保田敏一
MACHINE → 1971年シェブロンB19/HART420S(2リッター直4)
北野元仕様



シェブロンが1971年に開発したB19。現車は1973~74年にニッセイト・レーシングが富士GCで走らせたマシン。エンジンはコスワースBDAベースのHART 420S。ドライバーは北野元や都平健二だった。ドライバーの久保田敏一は、1970年代にコジマエンジニアリングやハヤシレーシングなどのFL500で活躍した経験を持つ。

Car No. 35 Chevron B19

TEAM → タク・インターナショナル DRIVER → 兼子卓三
MACHINE → 1971年シェブロンB19/
コスワースBDG(1.9リッター直4)



シェブロンB19は1971年登場の同社初の本格的オープン2座レース車両で、富士GCには初年度の1971年から参戦。その後発展型のB21、B23、B26、B36が1980年代初頭まで活躍した。現車は近年輸入されたもの。ドライバーの兼子卓三は多くのヒストリックカーレースで活躍し、Rally Japanのヒストリッククラスにも参戦した。

Car No. 8 Chevron B23

TEAM → 丸山光太郎 DRIVER → 丸山光太郎
MACHINE → 1973年シェブロンB23/
HART420S(2リッター直4)



B19のサスペンションなどを改良したB21が1973年にB23に進化。フロントカウルが低くなるなど細部が異なる。富士GCでは1973年第3戦から高原敬武が使用したが、現車はその後杉崎直司や長谷見昌弘がボディを変更して使用した。ドライバーの丸山光太郎は様々な車両でヒストリックカー・レースやイベントに出場している。

Car No. 3 March 74S

TEAM → Racing Gear Collection DRIVER → 恒川 肇
MACHINE → 1974年マーチ74S改/マツダRE-13B(654cc×2)
高原敬武仕様



1974年登場のマーチ74S。富士GCでは高原敬武が1975、76年を連覇した。現車はその高原が使用した後、清水正智、岡本幸らが運転。ボディはムーンクラフトや岡本幸製バーツを使用する。エンジンはマツダRE-13Bだが、1975年の高原仕様となっている。ドライバーの恒川肇はFJ1600やスーパーFJで活躍した経験を持つ。



Car No. 28 MANA-09

TEAM → FIT EASY RACING DRIVER → 藤井修二
MACHINE → 1973年MANA-09/マツダRE-12A(573cc×2)
従野孝司仕様



マキF1の開発でも知られる三村建治氏が1973年の富士GC用に製作したマシン。独特のボディデザインが特徴だった。エンジンはマツダRE-12Aで、従野孝司、片山義美らがドライブした。ドライバーは1980年代後半からマツダのグループC(IMSA GTP)マシンで国内耐久レースで活躍、クラス優勝も記録した藤井修二が務める。



Car No. 98 AIM GRD S74

TEAM → AIM DRIVERS CLUB DRIVER → 鈴木幸典
MACHINE → 1974年GRD S74/コスワースBDG(2リッター直4)



イギリスのGRDが1974年に作ったS72の発展型S74。日本では生沢徹がVAL製カウルを装着し、1977年に戴冠したことで知られるが、現車は近年輸入された、GRDオリジナルカウル装着車両。ドライバーの鈴木幸典はヒストリックカーレースで、ル・マン・クラシックやグッドウッド・リバーサルなどへの出場経験を持つ。



Car No. 8 Chevron B23

TEAM → 丸山光太郎 DRIVER → 丸山光太郎
MACHINE → 1973年シェブロンB23/
HART420S(2リッター直4)



MIMI5 GC Returns 2025

エントリーリスト

GC Returns

Gen-2

1978~86年

1座席 2リッター時代

マーチやシェブロンなど2座席スポーツプロトタイプカーの幅を狭めた新造モノコックに、ベース車の足まわりパーツを流用し、シングルシーター・ボディを架装したマシンが原点。その後更なる性能向上を目指し、マーチ製F2シャシーに独自のボディを架装したマシンが登場するとこちらが主流となった。エンジンはBMW M12とマツダRE-13B 2ローターが双璧で、トヨタ、ヤマハも存在。チューナーの戦いも熾烈だった。

Car No. 11 MCS Mazda

TEAM → Racing Gear Collection DRIVER → 上住道人
MACHINE → 1980年MCS/マツダRE13B(654cc×2)
長谷見昌弘仕様



既存の2座スポーツカー用の横幅を狭めたシャシーとサスペンションに、ムーンクラフト製ボディを装着した初代 MCSは1979年に登場。現車はマツダ RE-13Bエンジンを搭載し、1979~80年の長谷見昌弘車のカラーを纏う。ドライバーの上住道人はFJ1600やJAF-F4で活躍し、スーパーGTにスポット参戦した経験を持つ。

Car No. 6 ウルフMCS Returns

TEAM → ウルフMCS Returns DRIVER → FLYING RAT
MACHINE → 1980年MCS/マツダRE13B(654cc×2)
関谷正徳仕様



Car No. 44 March822 MCS V

TEAM → やさか俱楽部 DRIVER → 流井和幸
MACHINE → 1984年マーチ822/MCSV/
BMW M12/6(2リッター直4)



F2のマーチ822のシャシーにMCSVボディを組み合わせ、BMW M12エンジンを搭載したマシン。1984年にこの組み合わせで出場した4台のマシンのうちのどれかのはず。ドライバーの流井和幸は1975~82年にFL500レースに参戦。篠田レーシングサービス(SRS)のドライバーとして故高橋徹や故小河等らと戦った経験を持つ。



MIMI5 GC Returns 2025

エントリーリスト

GC Returns

Gen-3 | 1987~89年

1座席3リッター時代

トップフォーミュラがF2からF3000に移行したことに合わせ、GC CarもF3000シャシーにシングルシーター・ボディを架装したものになった。シャシーはローラ、マーチ(レインハウス)がメインで、エンジンはV8のコスワースDFVや無限MF308とマツダRE-20B 3ローター。ボディはMCSの他、セルモ、東京R&D、マッドハウス、マーチ(レインハウス)などがあり、各コンストラクターの戦いが熾烈になった。

Car No. 27 | 伸東メタリコン

TEAM → HRT DRIVER → 田中裕司

MACHINE → 1988年マーチ88GC/OKAMOTO Sp/コスワースDFV(3リッターV8)岡本金幸仕様



マーチがF3000を元に作ったGC専用車両がGC88。これに自ら開発したボディで参戦することが多かった岡本金幸が作ったスペシャルボディを組み合わせ、DFVエンジンを載せたのがこの個体。最後のGCレースとなった1989年最終戦のみに登場した。ドライバーの田中裕司は、様々なヒストリックカーレースに参戦している。

Car No. 61 | ミズノスポーツ88Q

TEAM → やさか俱楽部 DRIVER → 脱兎さん

MACHINE → 1989年ローラT88/40/東京R&D88Q /マツダRE20B(654cc×3) エイエ・エルグ仕様



ローラが1988年のGC用に作ったT88/40シャシーに、東京R&D 88Qボディを装着し、マツダRE-20Bトリプルローター・エンジンを搭載。現車は1988、89年にエイエ・エルグがドライブしたマシン。ドライバーの脱兎さんは、1976年から様々なヒストリックカーレースやラリーに参戦しており、2008年にはモンテカルロラリーヒストリックに参戦している。

Car No. 21 | Classic Car.jp TOMEI SPORTS

TEAM → Classic Car.jp TOMEI SPORTS DRIVER → 小嶋禎一

MACHINE → 1987年ローラT87/50/MCS8/コスワースDFV(3リッターV8)池谷勝利仕様



1987年から最大排気量が3リッターに拡大され、F3000ベースのマシンの出場が可能になった。現車はローラT87/50のシャシーにMCS8ボディとコスワースDFVエンジンを搭載し、1989年に池谷勝利がドライブしたマシン。ドライバーの小嶋禎一はスーパー耐久シリーズなどの他、ル・マン・クラシックにも参戦した経験を持つ。



Car No. 60 | GC89G-ITOHAM

TEAM → FIT EASY RACING DRIVER → 国江仙嗣

MACHINE → 1989年ローラT88/50/セルモ89G/マツダRE-20B(654cc×3) 従野孝司仕様



1989年の全日本GC選手権用に、セルモが開発したローラ製F3000用ボディカウル89Gを装着したマシン。星野一義や高橋国光が使用したが、マツダRE-20Bエンジンを搭載したのはこの従野孝司車のみだった。ドライバーの国江仙嗣は、様々なクラシックカーを所有する愛好家で、サーキット走行やラリー競技も積極的に行っている。



Car No. 5 | HOSHINO SPIRIT

TEAM → TEAM OKAZAKI DRIVER → 星野茂

MACHINE → 1987年ローラT87/50/MCS9/無限MF308(3リッターV8)長谷見昌弘仕様



1987年のF3000用ローラT87/50シャシーに、MCS9カウルと無限MF308エンジンを組み合わせた1989年用GCマシン。現車はこの年長谷見昌弘が鈴鹿戦で運転した。ドライバーの星野茂はモントレー・ヒストリック・オートモビルレースやラリージャパンのヒストリック部門にも出場。F1マシンでの走行も趣味で行っている。



MIMI5 GC Returns 2025

予選結果

GC Returns

GC Returns 予選

2025 / 8 / 9 9:16

FUJI SPEEDWAY

Fuji Speedway(4,563m)

結果表

Weather :Cloudy
Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	21	Gen-3	1	小嶋 祐一	Classic Car.jp TOMEI SPORTS	1'39.906	6 / 7		164.423
2	60	Gen-3	2	久保田 克昭	GC89G-ITOHAM	1'45.836	5 / 6	5.930	155.210
3	8	Gen-1	1	丸山 光太郎	Chevrolet B23	1'56.988	5 / 6	17.082	11.152
4	35	Gen-1	2	兼子 卓三	Chevrolet B19	1'58.600	3 / 5	18.694	1.612
5	6	Gen-2	1	関谷 正徳	カルフ MCS RETURNS	1'59.297	3 / 5	19.391	0.697
6	4	Gen-1	3	久保田 敏一	KED シュブン	1'59.926	4 / 5	20.020	0.629
7	61	Gen-3	3	脱兎さん	ミズノボーッ 88Q	2'02.004	4 / 4	22.098	2.078
8	11	Gen-2	2	上住 道人	MCS Mazda	2'11.233	2 / 3	31.327	9.229
9	27	Gen-3	4	田中 裕司	仲東メアリン	2'40.365	2 / 2	1'00.459	29.132
10	28	Gen-1	4	藤井 修二	MANA-09	2'53.074	2 / 3	1'13.168	12.709
11	44	Gen-2	3	流井 和幸	March MSC	3'08.895	2 / 2	1'28.989	15.821
	5	Gen-3		星野 茂	HOSHINO SPIRIT				86.963

GC Returns 決勝レース

2025 / 8 / 9 9:20

FUJI SPEEDWAY

Fuji Speedway(4,563m)

グリッド表

Weather :Cloudy
Track :Dry

1	21 小嶋 祐一 Classic Car.jp TOMEI SPORTS	2	60 久保田 克昭 GC89G-ITOHAM
2	3 丸山 光太郎 Chevrolet B23	4	35 兼子 卓三 Chevrolet B19
3	6 関谷 正徳 カルフ MCS RETURNS	6	4 久保田 敏一 KED シュブン
4	61 脱兎さん ミズノボーッ 88Q	8	11 上住 道人 MCS Mazda
5	44 流井 和幸 March MSC	10	27 田中 裕司 仲東メアリン
6	28 藤井 修二 MANA-09	11	5 星野 茂 HOSHINO SPIRIT

MIMI5 GC Returns 2025

決勝結果

GC Returns

GC Returns 決勝レース

2025 / 8 / 9 11:54

FUJI SPEEDWAY

Fuji Speedway(4,563m)

結果表

Weather : Rain
Track : Wet

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Lap	Total Time	Ave. km/h	Gap	Best Time	Lap
1	21	Gen-3	1	小嶋 祐一	Classic Car.jp TOMEI SPORTS	10	21'21.440	127.336		1'41.713	10
2	5	Gen-3	2	星野 茂	HOSHINO SPIRIT	10	21'33.765	126.123	12.325	1'42.478	8
3	6	Gen-2	1	関谷 正徳	カルフ MCS RETURNS	10	23'01.375	118.124	1'39.935 1'27.610	1'56.041	7
4	35	Gen-1	1	兼子 卓三	Chevron B19	10	23'02.480	118.030	1'41.040	1.105	7
5	4	Gen-1	2	久保田 敏一	KED シプロン	10	23'04.480	117.859	1'43.040	2.000	7
6	8	Gen-1	3	丸山 光太郎	Chevron B23	10	23'06.478	117.689	1'45.038	1.998	7
7	60	Gen-3	3	久保田 克昭	GC89G-ITOHAM	9	21'25.570	114.149	1Lap	1Lap	8
8	11	Gen-2	2	上住 道人	MCS Mazda	9	21'46.328	112.335	1Lap	20.758	4
9	61	Gen-3	4	脱兎さん	ミズノスピード 88Q	9	22'54.401	106.771	1Lap	1'08.073	9
10	27	Gen-3	5	田中 裕司	伸東ノタリコン	9	22'56.100	106.640	1Lap	1.699	9
11	28	Gen-1	4	藤井 傳二	MANA-09	8	23'14.531	93.451	2Laps	1Lap	4



2026年は、全3戦、シリーズ戦開催を目指し計画を進めています。ご期待ください。

MIMI5 GC Returns 2025

表彰式

GC Returns



MIMI5 GC Returns 2025 全車紹介

GC Returns



2026年は、全3戦、シリーズ戦開催を目指し計画を進めています。ご期待ください。



MIMI5 GC Returns 2025

媒體揭載情報

GC Returns



朝日新聞 2025年8月23日 朝刊 29ページ 静岡全県

伝説の「グラチャン」36年ぶり復活

レースが始まりコーナーを駆け抜ける
マシン!! いずれも富士スピードウェイ



動画 ■
「グラチャン」レースの動画はQRコードから

「グラチャン」(GC)の愛称で知られた伝説の自動車レースが、富士スピードウェイ(FSW、小山町)で36年ぶりに復活した。往年のレーシングカーが轟音を上げながら疾走し、詰めかけたファンを喜ばせた。GCは正式には「富士グラチャンチャンピオンシリーズ」だ。前年に国内最高峰C Returns(リターンズ)で36年ぶりにFSWで初めて開催された。自動車レースだったことは異なり、スポンサーを募るなどして組んだプライベートチームが主役

たのは「MIMI5 G」だ。1971年止になつたのを受けて始まつた。メカニク主導のチームは、メーカー主導のチームとは異なり、スポンサーを募るなどして組んだプライベートチームが主役

た。GCは正式には「富士グラチャンチャンピオンシリーズ」だ。前年に国内最高峰C Returns(リターンズ)で36年ぶりにFSWで初めて開催された。自動車レースだったことは異なり、スポンサーを募るなどして組んだプライベートチームが主役

1971~89年式のマシン12台が疾走

車体に乗り込み調整するメカニック
レースが始まりコーナーを駆け抜ける
マシン!! いずれも富士スピードウェイ
1971~89年式のマシン14台が復活したレースには71

1台が復活した元レーシングドライバーの鮎子田寛さん(79)は企画の経緯をそう明かす。復活したレースには71

みせた。

(本間久慈

ツ文化の一時代を築いた
レースだけに、参戦した
ドライバーやエンジニア、メカニックたちの思
い人は強い。「仲間うちで復活させたい」という
声が根強かった。車体が

わりと残っていることも
分かった。動かないものをレストア(復元)して
参加しようという人も出てきた」。発起人で、F1公式戦に日本人として初めて出場した元レーシングドライバーの鮎子田寛さん(79)は企画の経緯をそう明かす。

1971年の歴史に幕を下ろした。日本のモータースポーツ文化の一時代を築いた
レースだけに、参戦したドライバーやエンジニア、メカニックたちの思いは強い。「仲間うちで復活させたい」という声が根強かった。車体が

一度きりの復活にとどめず、シリーズ化をみず
と感想を話した。車は想像していたよりも乗
りやすく、楽しかった

のシリーズ戦として盛り上がりをみせ、個性豊かなマシンがしのぎを削った。規格は時代によって2座席(2リッター)、1座席(2リッター)、1座席(3リッター)と

人気が過熱し、レースで集合する「グラチャン」が社会問題になるほどだった。しかし、マシンの維持や整備にコストがかかることや、他の規格のレースの登場で陰りがみえたことなどから89年には、GCはこのまま終りを下した。

◎ 朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

MIMI5 GC Returns 2025

媒体掲載情報

GC Returns

MZ Racing

トップページ

レース速報 アメリカンレース | 海外レース | 日本国内レース ニュース 特集 プロダクト MZ

ニュース

2025/08/09 OTHER (国内) [GC RETURNS] 富士GC、36年の歳月を経て復活

J SPORTS

ログイン・ID登録 検索したい内容を入力 総合 オンデマンド オンラインショップ コラム&ニュース

番組ジャンル 番組表 各種サービス お客様サポート 初めての方へ 視聴するには

番組紹介

TOP > モータースポーツ > SUPER GT【スーパーGT】 > GTV 2025 ~SUPER GT トークバラエティ~ 【特別編 GC Returns 1st】

無料

GTV 2025 ~SUPER GT トークバラエティ~ 【特別編 GC Returns 1st】

GTV2025 ~SUPER GT トークバラエティ~
【特別編 GC Returns 1st】

36年の時を超えて「グラチャン(GC)」が復活！

1989年に幕を閉じた“富士グランチャンピオンシリーズ”は、2座席スポーツカーレースシリーズとして始まり、ローラやマーチ、シェブロンなどの外国産シャシーと国産シャシーの闘いや、国内外のトップドライバーの参戦もあり、数々の伝説を残し人気を博しました。

そんなGCが多くの方々の熱意により現代に復活。

今回は各世代から合計12台の可動車が揃い熱いレースを繰り広げました。

J SPORTS 2

放送日：2025年9月30日（火）

放送時間：深夜 1時 30分～深夜 2時 05分

MIMI5 GC Returns 2025
媒体掲載情報

GC Returns

MZRacing Channel

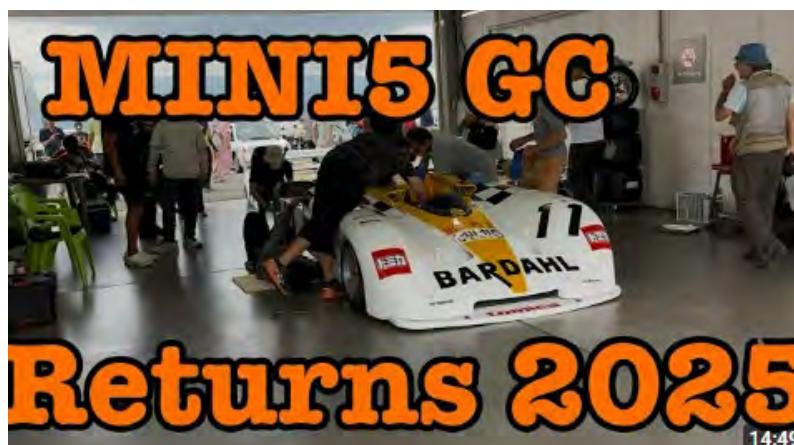


<https://www.youtube.com/watch?v=zWglpMUpQ8>
potashi



<https://www.youtube.com/watch?v=rETGb5g-AiQ>

KACKY ch



<https://www.youtube.com/watch?v=bQuQwwe9xzM>

MIMI5 GC Returns 2025 媒体掲載情報

GC Returns

のりめえん



https://www.youtube.com/watch?v=nnY88bJ_l8I

式四丸道楽



<https://www.youtube.com/watch?v=seX1022Eleo>

yamazon100



<https://www.youtube.com/watch?v=j39ffgWam6Y>

MIMI5 GC Returns 2025

Legends デモラン

GC Returns

Legend Driverの皆さん、
GC Returns デモランでは、
現役時代を思い出させる熱い
走りを見て頂き、ファンの
皆さんには大興奮でした。
オーナーの皆さん、ご協力あ
りがとうございました。



「スーパー銭湯」のパイオニア

オークランド観光開発株式会社

1969年(昭和44年)の設立以来、ボウリング場を始めとしてパチンコ、温浴施設、アミューズメントなど様々なレジャー施設の運営を行っています。1989年(平成元年)に全国で初めて「スーパー銭湯」と命名した温浴施設を名古屋市守山区竜泉寺にてスーパー銭湯「竜泉寺の湯」の第1号店を出店して以来、東海・関東・東北地区を中心に計10店舗に広げて、近年は新ブランド「スパメッツア」を展開しております。

名古屋 豊田 磐田 茅ヶ崎 横浜 八王子
草加 流山 仙台 盛岡



竜泉寺の湯



“GC Returns” 実行委員会
一般社団法人 ジーシー・リターンズ
605-0853 京都市東山区東大路松原上る星野町92
info@gc-returns.jp